

提出 順番	No. 8	令和 4 年 11 月 25 日 午前・(午後) 2 時 00 分受領
----------	----------	--

令和 4 年 11 月 25 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 中橋 友子 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
地域資源を生かし、循環型経済で、町民が豊かに暮らせるまちづくりを。	<p>物価高騰と町民生活の悪化が深刻になっています。実質賃金は長期にわたって上がらず、年金は今年 6 月に引き下げられました。内閣府が発表した 2022 年第 1 四半期の国内総生産 GDP は、前期比 0.2% 減少し、格差と貧困を拡大しています。特に若者の間で格差が拡大していることも報告されています。暮らしや営業の困難が広がる中で、新たな課題も見えてきています。食料やエネルギーの多くを輸入に依存してきたことが、価格の高騰と品不足につながりました。国内の自給率は、食料が 38%、エネルギーが 12.1% (2019 年経産省) でしかありません。改めて人が生きていく上に必要な食料とエネルギーの自給率を高める事は、喫緊の課題です。</p> <p>自然に恵まれ、基幹産業を農業とする幕別町の大きな役割であると考えます。</p> <p>以下次の点を伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 幕別の産業を支える農業、工業、商業の事業者の物価高騰等の影響、労働者不足や後継者の現状と見通しは。 十勝の食料の自給率は 1200% を超え、経済波及効果は 3 兆円と言われていますが、肥料や飼料、種など多くの生産資材は外国にゆだねています。リン酸肥料の原料は有限な鉱石資源であり、資源

保護の観点からも、有機物への転換の機会ととらえ、生産者、関係団体と企業と町が一体となり、肥料・飼料の自給率向上に向けて取り組みを強化すべきであると考え、町の見解は。

3 北海道は自然エネルギーの宝庫と言われ、そのポテンシャルは原子力発電の数百倍との専門家の報告があります。世界では、グローバル企業を中心に、企業活動に必要なエネルギーの100%を再生可能エネルギーで調達することを目指すRE100の取組が広がっています。広く再生可能エネルギーを普及させるために早期に

- (1) 地域の資源を地域で活用するため、新たな事業の展開で雇用を生み出し、循環型の経済を推進すること。そのための地域エネルギー計画を持つ計画は。
- (2) 十勝圏で「十勝エネルギー公社」を設立し、広域連携で再生可能エネルギーの事業に取り組みを開始してはどうか。

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。